

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 宮城県 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	南三陸町立志津川小学校第5学年 44名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 (社会科)</p> <p>② 行事名 ()</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・地元で産出される「南三陸杉」に興味をもち、新国立競技場の建築材として使用されるような取組を続けている方々の願いを知る。 ・オリンピック・パラリンピックと自分たちの地域がどのように関連しているのかに気付き、オリンピック・パラリンピックに対する興味・関心を高める。
5 取組内容	<p>1 「南三陸杉」について知る</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>地元の林業家である佐藤さんと「山の会」の工藤さんを講師として招き、地域の杉が「南三陸杉」として国際的な森林管理認証である FSC を取得し、新国立競技場の建築材として使われるかもしれないことを話していただいた。</p> <p>杉は住宅を建てたり、工芸品の材料になったりするだけでなく、環境保全にとっても非常に大切なものであるということを絵や図を使って分かりやすく説明していただいた。</p> <p>また、FSC の認証を取得することで、「南三陸杉」がオリンピック・パラリンピックの会場となる新国立競技場の建築材として使われる可能性が高いことを話していただいた。</p> </div> </div>

2 南三陸杉に触れる



実際に杉の木を削ってスプーンやフォークの柄の部分を作成する活動に取り組んだ。



カッターや小刀、やすりを使って手触りがよくなるように仕上げることができた。製作したフォーク、スプーンは各自持ち帰り、実際に食事の際に使っている。

3 自分たちで調べたことを発表する



お話を聞いた後、杉や FSC について自分たちで調べて模造紙にまとめた。後日、佐藤さん、工藤さんにもう一度学校に来ていただき、調べた内容を発表した。

6 主な成果

授業後の児童の感想から次のようなことが分かった

- ・自分たちの地域とオリンピック・パラリンピックが杉を通してつながろうとしていることに気付くことができた。
- ・地域のすばらしさに気づき、郷土に対する愛着を持つことができた。

7 実践において工夫した点 (事業の特色)

- ・地元と東京オリンピック・パラリンピック教育をつなげるものとして、「南三陸杉」を取り上げ、地元の方を講師に招いて話を聞くことで、オリンピック・パラリンピックだけでなく、地域についてより深く理解できるような学習過程となるよう工夫した。

8 主な課題等

- ・社会科とふるさと教育と関連させて行ったため、児童の意識をオリンピック・パラリンピックに向けさせることが難しかった。どうして FSC 認証を得ることが大切なのかをオリンピック・パラリンピックの精神を踏まえて意識させたかった。

9 来年度以降 の実施予定

- ・「ふるさと教育」とも関連させ、来年度以降も今年度と同様の授業を実施する予定である。